

令和六年度採用 中学校 国語

教科(科目)	国語
受験番号	

□ 次の文章を読んで、後の(一)～(六)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(出典 鹿毛雅治 著 「モチベーションの心理学」)

(一) 本文中の — a ～ c の片仮名を漢字に改め、これと同じ漢字を用いた語句の組合せとして正しいものを、後の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は11。

a {
 ア ヨクヨウを付けて読む
 イ 首相にエツケンする
 ウ 広告をケイサイする

b {
 ア 諸事情をカンアンする
 イ 道路がカンボツする
 ウ カンサンとした公園

c {
 ア 不正をバクロする
 イ 容疑者をホバクする
 ウ コウバクたる大平原

- ① a ア b イ c イ
 ② a ア b ウ c ア
 ③ a イ b ア c ウ
 ④ a ウ b ア c イ
 ⑤ a ウ b イ c ウ

(二) 本文中の [ア] ～ [エ] に入る言葉の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は12。

- ① ア また イ さらに ウ たとえば エ つまり
 ② ア また イ さらに ウ あるいは エ 一方で
 ③ ア だが イ ただし ウ あるいは エ 一方で
 ④ ア だが イ さらに ウ たとえば エ つまり
 ⑤ ア また イ ただし ウ たとえば エ つまり

- ③ 次の文は、本文中の(Ⅰ)～(Ⅴ)のどの段落の始めに入るか。最も適切なものを、後の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は13。

では、なぜ実行意図のほうが目標意図よりも効果的なのだろうか。

- ① (Ⅰ) ② (Ⅱ) ③ (Ⅲ) ④ (Ⅳ) ⑤ (Ⅴ)

- ④ 本文中の――A「目標実現へのプロセスは必ずしもスムーズに一直線で進行するわけではない」とあるが、この理由として適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は14。

- ① 目標は特定の行動を引き起こすが、その行動は目標によってコントロールされないから。
② 目標によって行動が起こり、その行動が基準となつて進捗^{しんぱく}状況が評価されるから。
③ 最初に設定した目標は実現可能であると考え、行動していこうとするから。
④ 目標を実現していく経過において、別の目標との間に葛藤が生じることもあるから。
⑤ 妥協案として新たな目標を設定するなど、目標調整を他の人から求められるから。

- ⑤ 本文中の――B「意図」とあるが、本文中で述べられている「意図」についての説明として、適切なものの組合せを、後の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は15。

- ア 意図とは、「○○しよう」という特定の行動を起こす具体的な思いのことである。
イ 意図の背後には、「○○しよう」という目標と「～のために」という思いがある。
ウ 意図には、予測や希望、その行動を遂行しようとする積極性のいずれかがある。
エ 意図とは、実行プランが行為者の決意として活性化した心理状態を意味している。
オ 意図は、行為の身構えではあるが、モチベーションの重要な規定因ではない。

- ① ア・イ
② ア・エ
③ イ・オ
④ ウ・エ
⑤ ウ・オ

(六) 本文に書かれている内容として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は16。

- ① 「スポーツクラブに行こう」という意図があつたとしても、何となく気乗りがしなくて腰が重くなり、行動を先延ばしにしてしまうのは、当人があれこれと躊躇する間もなく、半ば自動的に行動を促す実行意図によるものである。
- ② 「スポーツクラブに行こう」という意図があつたとしても、「今は天気が悪いから、夕方しよう」「まず家事を先にしなきゃ」というように先延ばしにしてしまうのは、「Xをするつもりだ」という目標意図に、決意が含まれていないからである。
- ③ 今日、様々な局面で目標を立てることの意義が強調されている中、「目標倒れ」に終わってしまいがちなのは、目標意図のみならず、実行意図においても、単に望ましい結果として書き出しているからである。
- ④ 「三日坊主」は、目標の持つ機能のうち、行動を引き起こす活性化機能がはたらいっているものの、注意と努力を方向づける機能や、努力を持続させる維持機能が十分にはたらいていない時に起こる。
- ⑤ メタ認知とは、「自分を客観的に見つめる自分」のようなものであり、たとえば、読書をする際に、意味をつかめなかつた文章がどこにあるのかを監視し、適切に把握するシステムのことをいう。

二 次の文章を読んで、後の(一)～(六)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

*

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(出典 武者小路実篤 著 「友情」)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- (一) 本文中の—— a ～ c の片仮名を漢字に改め、これと同じ漢字を用いた語句の組合せとして正しいものを、後の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は17。

a {
ア カンガイ深い気持ちになる
イ 冗談もタイガイにしない
ウ 城のガイカンが見事である

b {
ア 商品をクウゴする
イ 明瞭にゴゴクする
ウ 勝利にゴエツする

c {
ア 資料をハイジユする
イ センパイを尊敬する
ウ 暴力をハイジヨする

- ① a ア b イ c イ
② a イ b イ c ア
③ a イ b ウ c ア
④ a ア b ウ c ア
⑤ a ウ b ア c ウ

(二) 本文中の—— A 「腰を折られた」は、「話の腰を折る」という場合に使用し、「余計な口出しなどをして、会話を続ける気分をこわす」という意味の慣用句である。「〇〇を折る」という形の慣用句として**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は18。

- ① 骨を折る
- ② 歯を折る
- ③ 鼻を折る
- ④ 我を折る
- ⑤ 筆を折る

(三) 野島と早川の考え方を述べた文のうち、正しいものの組合せとして最も適切なものを、後の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は19。

ア 野島は人間が健康でいられるのは神のようなもののおかげだと考えるが、早川は人間が健康でいられるのはオゾンの働きだと考える。

イ 野島は人間も蚤も蛆も神がつくったものだと考えるが、早川は人間をつくったのは神だが蛆や蚤は違ふと考える。

ウ 野島は杉子も蛆虫と同じものだと考えるが、早川は杉子と蛆虫は違ふものだと考える。

エ 野島は人間には幸福や健康が必要だと考えるが、早川は人間には幸福や健康は必要ではないと考える。

オ 野島は人間には美や無限などが必要だと考えるが、早川は人間には美や無限などは必要ないと考える。

- ① ア・オ
- ② イ・エ
- ③ ウ・エ
- ④ ウ・オ
- ⑤ エ・オ

四) 本文中の——B「淋しいような、腹立しいような、後悔するような気がした」とあるが、野島がそう感じた理由として適切なものの組合せを、後の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は20。

ア セっかく大宮から「先生」と言われたのにも関わらず、杉子や早川にうまく説明ができなかったから。

イ 杉子に対して、蛆虫と同じものであるとか、自分自身をあざむいているとか、失礼なことを言ったから。

ウ つい、むきになってしまつて、場の空気を悪くしてしまつたり、言い争つてしまつたりしたから。

エ 武子と海に入ろうと言つて一緒に入ったにも関わらず、黙つて一人で家に帰つてきてしまつたから。

オ 人間と虫けらは精神や魂があるかどうかによつて異なると説明しても、杉子に分かつてもらえなかったから。

① ア・ウ・オ

② イ・ウ・エ

③ ア・エ・オ

④ イ・ウ・オ

⑤ ウ・エ・オ

五) 本文中の——C「武子の心が杉子に入っていたら、彼はそう思った」とあるが、この心情の説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は21。

① 武子は泣き出した野島に対して、優しく声を掛けてくれるところがあるが、杉子には無神経なところがあり物足りなさを感じている。

② 武子は本を借りに来るほど勤勉だからこそ、神の考え方も野島に近いが、杉子は教養がなく神について無知なことを嘆いている。

③ 武子は謙虚で周囲への心遣いができるが、杉子は美しさを鼻にかけて傲慢で自分勝手なところがあることを残念に思っている。

④ 武子は野島にとってはいつも身近にいてくれる存在だが、杉子には美しさに見とれてしまい、親近感が湧かないことを憂いている。

⑤ 武子は見えないけれども神を感じて生きているが、杉子は生きるためには神は必要ないと思つていることを気にかけている。

(六) 本文中の——D「屈辱」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は22。

- ① 野島が杉子の心ではなく、外見の美しさを愛しているということ。
- ② 野島が三人を見送ったあとに、急に泣き出してしまったこと。
- ③ 野島が人間には精神があることを説明しても、理解してもらえなかったこと。
- ④ 野島が気持ちよく話しているところを、早川に邪魔されたこと。
- ⑤ 野島が説明している途中に、三人が最後まで聞かずに帰ってしまったこと。

三 次の文章は、『住吉物語』の一節である。これを読んで、後の(一)～(五)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(出典 「新編日本古典文学全集39 住吉物語」)

(一) 本文中の~~~~aとcの読みの組合せとして最も適切なるものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は23。

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-------|---|-----|
| ① | a | のれん | b | あいけい | c | うわぎ |
| ② | a | のれん | b | あいぎよう | c | うちき |
| ③ | a | みす | b | あいぎよう | c | うちき |
| ④ | a | みす | b | あいぎよう | c | ひとえ |
| ⑤ | a | みす | b | あいけい | c | うわぎ |

(二) 本文中の——アとエの助動詞の文法的な意味の組合せとして最も適切なるものを、後の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は24。

a 過去 b 打消 c 完了 d 受身 e 尊敬 f 断定

- | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | e | イ | b | ウ | c | エ | f |
| ② | ア | e | イ | c | ウ | b | エ | f |
| ③ | ア | e | イ | b | ウ | c | エ | a |
| ④ | ア | d | イ | b | ウ | c | エ | a |
| ⑤ | ア | d | イ | c | ウ | b | エ | f |

Ⅲ 本文中の――A「さらば、降りさせおはしましとぶらぐかし。見ぐるしくもはぐらず。君達もみな降りたまふ」とあるが、その解釈として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は25。

- ① では、どうぞお降りになつてくださいます。見苦しいでしょうからおそばに控えません。妹君も皆お降りになりました。
- ② では、どうぞ降りてお仕えくださいます。見苦しいでしょうからおそばに控えません。妹君も皆お降りになりました。
- ③ では、どうぞお降りになつてくださいます。見苦しくもございません。妹君も皆お降りになりました。
- ④ では、どうぞ降りさせ申し上げてくださいます。見苦しくもございません。父君や少将も皆お降りになりました。
- ⑤ では、どうぞ降りてお仕えくださいます。見苦しくもございません。父君や少将も皆お降りになりました。

Ⅳ 本文中の――B「扇差しかざして」とあるが、その理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は26。

- ① 松の木の下に優雅に立っていた少将を見つけて、少将にも和歌を詠みかけようと思ったから。
- ② 松の木の下に立っていた少将を見つけて、少将の存在を忘れていたことを申し訳なく思ったから。
- ③ 松の木の下に隠れてのぞき見していた少将を見つけて、驚き恥ずかしく思ったから。
- ④ 松の木の下に隠れていた少将を見つけて、さりげないやさしさと風流心に気づいたから。
- ⑤ 松の木の下に隠れてのぞき見していた少将を見つけて、憤りを感じ、あきれて何も言えなかったから。

Ⅴ この文章中の出来事の説明として適切なでないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は27。

- ① 少将には、中の君よりも三の君のほうが少しまさっているように見えた。
- ② 少将がもつとも美しく思われて心ひかれたのは、宮腹の姫君である。
- ③ 少将は、三姉妹が嵯峨野にでかけることをそれとなく聞いて先回りした。
- ④ 不審に思われた少将は、姫君たちに会いたく待っていたのだと言い訳をした。
- ⑤ 少将は、宮腹の姫君に対する思いを「小松」に託して歌を詠んだ。

四 「中学校学習指導要領（平成二十九年告示）解説 国語編（平成二十九年七月 文部科学省）」に示されている内容について、次の(一)～(三)の問いに答えよ。

(一) 次は、「第二章 国語科の目標及び内容 第二節 国語科の内容 三〔思考力、判断力、表現力等〕の内容 B 書くこと」の一部である。[A]～[E]に当てはまる語句を【語群】a～jから選択し、その組合せとして正しいものを、後の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は28。

○題材の設定、情報の収集、内容の検討

目的や意図に応じて題材を決め、情報を収集・整理し、伝えたいことを明確にすることを示している。

「題材の設定」については、第一学年では、小学校との接続を考慮して [A]、第二学年及び第三学年では、[B] 集めることを示し、発達の段階に応じて題材を決める範囲を広げている。「情報の収集」及び「内容の検討」については、第一学年では、集めた材料を整理し、第二学年では、多様な方法で集めた材料を整理し、第三学年では、集めた材料の [C] を確認し、伝えたいことを明確にすることを示している。

○構成の検討

文章の構成を検討することを示している。

第一学年では、段落の役割などを意識して、第二学年では、段落相互の関係などを明確にし、第三学年では、論理の展開などを考えて、文章の構成や展開を考えたり工夫したりすることを示している。

また、第三学年では、構成を考える際に意識することとして、多様な読み手を [D] することを求めている。

○考えの形成、記述（省略）

○推敲

読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整えることを示している。

第一学年では、[E]、叙述の仕方などを、第二学年では、表現の効果などを、第三学年では、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめることを示している。

【語群】

- a 日常生活の中から
- b 学校生活の中から
- c 社会生活の中から
- d 客観性や信頼性
- e 多様性や信頼性
- f 客観性や具体性
- g 想定できるように
- h 説得できるように
- i 表記や語句の用法
- j 文法や語句の用法

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | A | a | B | b | C | C | D | D | E |
| ② | A | a | B | c | C | C | D | D | E |
| ③ | A | a | B | c | C | C | D | D | E |
| ④ | A | b | B | c | C | C | D | D | E |
| ⑤ | A | b | B | c | C | f | D | g | E |

- (二) 次は、「第三章 各学年の内容 第一節 第一学年の内容 一〔知識及び技能〕」の内容の一部である。【A】～【E】に当てはまる語句を【語群】a～jから選択し、その組合せとして正しいものを、後の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は29。

漢字の読みについては、小学校で学習した一、〇二六字に加えてその他の常用漢字一、一一〇字のうち【A】までの漢字の読みを指導する。漢字一字一字の【B】を理解し、語句として、話や文章の中において文脈に即して意味や用法を理解しながら読むことが求められる。そのため、教科書を読むことや読書を通して、漢字の読みの【C】を図ることが大切である。また、字形と音訓、意味と用法、語の成り立ち、熟語の構成などについて必要に応じて指導し、例えば、漢字の構成要素である「くん」や「つくり」などに注目して、【D】ができるようにすることも考えられる。さらに、「思考力、判断力、表現力等」の「B書くこと」「C読むこと」の指導においてだけでなく、「A話すこと・聞くこと」の指導においても、例えば、【E】に誤って理解されそうなときには、漢字を例示することでこれを避けるといったような活動を取り入れるなど、機会があるごとに漢字を意識するようにすることが考えられる。

【語群】

- a 一〇〇字程度から三〇〇字程度
- b 三〇〇字程度から四〇〇字程度
- c 音訓
- d 字形
- e 習熟と活用
- f 習熟と応用
- g 読みを類推すること
- h 読みを解釈すること
- i 類似の語句の意味
- j 同音の語句の意味

- ① A a B c C e D g E i
- ② A a B d C c D h E j
- ③ A b B d C c D g E j
- ④ A b B c C f D g E j
- ⑤ A a B d C e D h E i

(三) 「第四章 指導計画の作成と内容の取扱い 三 教材についての配慮事項」において、教材を取り上げる際に配慮すべきこととして示されているものの組合せとして最も適切なものを、後の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は30。

- A 科学的、論理的に物事を捉え考察し、視野を広げるのに役立つこと。
- B 人間、社会、自然などについての考えを深めるのに役立つこと。
- C 生活を明るくし、強く正しく生きる意志を育てるのに役立つこと。
- D 生命を尊重し、他人を思いやる心を育てるのに役立つこと。
- E 自然を愛し、美しいものに感動する心を育てるのに役立つこと。

- ① A・B
- ② A・C
- ③ B・D
- ④ B・E
- ⑤ C・D

